資料1

これまでの協議結果について

本協議会の実施体制

○ **「摂津市地域公共交通計画」を作成**するため、交通事業者等の関係者で構成する**「法定協議会（※）」を設置**

○加えて、本協議会の下部組織として、行政・交通事業者等の**実務担当者によって構成される分科会**を設置し、計画作成に向けた具体的な内容調整や、施策実施に向けた具体化・体制などについて協議・検討を行う

○本協議会では、**分科会の協議結果を踏まえた事務局案**に対して協議を実施

<本会>

摂津市地域公共交通協議会

出席者のイメージ：
・摂津市各部署
・交通事業者
・近畿運輸局、大阪府、公募市民等

会議公開形式：公開
・当日の傍聴可
・資料・議事録をHP掲載

・分科会の協議結果を踏まえた事務局案に対する意見

<分科会>

摂津市地域公共交通協議会 分科会

出席者のイメージ：
・交通事業者
・近畿運輸局 等

会議公開形式：非公開
・当日の傍聴不可
・資料等の掲載なし

・計画の具体的な内容検討（方針・施策等）
・施策実施に向けた進め方・体制の検討

※地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく協議会

これまでの協議状況について

	日 時	内 容
第1回協議会	令和6年2月26日(月) 14:00～15:00	・地域公共交通協議会の設置について ・規約・規程(案)の承認について ・役員の選出について ・事業計画(案)及び予算計画(案)について ・地域公共交通計画について
第1回分科会	令和6年2月26日(月) 15:00～16:30	・分科会の進め方 ・摂津市の計画目標・方針に関する意見交換
第2回分科会	令和6年4月25日(木) 14:00～16:00	・第1回分科会の振り返り ・計画目標及び想定される施策に関する意見交換
市民委員との意見交換①	令和6年5月15日(水) ／令和6年5月17日(金)	・第2回分科会結果の共有、意見交換 ・第2回協議会に向けた事前説明
第2回協議会	令和6年5月21日(火) 10:00～11:00	・令和5年度 摂津市地域公共交通協議会決算報告について ・令和6年度 摂津市地域公共交通協議会　予算計画(案)及び事業計画(案)について ・第1回協議会の振り返り及び分科会の協議結果について ・摂津市の計画目標(案)及び想定される施策イメージについて
第3回分科会	令和6年7月5日(金) 13:00～15:00	・第2回協議会の振り返り ・計画目標の達成に向けた施策及びKPIに関する意見交換
市民委員との意見交換②	令和6年7月29日(月) ／令和6年8月1日(木)	・第3回分科会の結果共有、意見交換 ・「計画推進にあたっての役割分担」についてワークシートの作成を依頼
第4回分科会	令和6年8月29日(木) 10:00～12:00	・第3回分科会及び市民委員との協議の振り返り ・計画目標の達成に向けた施策及びKPIに関する意見交換
市民委員との意見交換③	令和6年10月8日(火) ／令和6年10月17日(木)	・第4回分科会の結果共有、意見交換 ・第3回協議会に向けた事前説明
第3回協議会	令和6年10月22日(火) 14:00～15:30	・これまでの協議結果について ・山形県鶴岡市への視察結果について ・摂津市地域公共交通計画(素案)について
第5回分科会	令和6年12月5日(金) 10:00～12:00	・これまでの協議結果について ・摂津市地域公共交通計画(素案)について ・計画推進に向けた進め方について
市民委員との意見交換④	令和6年12月26日(木) 10:00～11:30／13:00～14:30	・第5回分科会の結果共有、意見交換 ・第4回協議会に向けた事前説明

市民委員との意見交換結果

市民委員との協議結果

	日時	協議内容	意見等
市民委員との意見交換③	令和6年10月8日(火)／令和6年10月17日(木)	・第4回分科会の結果共有、意見交換 ・第3回協議会に向けた事前説明	**■セッピィ号及び市内循環バスの運行形態見直しについて** ・摂津市は、市外へ行くには便利だが市内での移動が不便であり、運行形態の見直しの際はしっかり市民ニーズを吸いあげてほしい。アンケートを実施するのであれば、自治会への声掛けなど協力する。また、ワークショップ等を実施する際は、市民への事前周知が大切であると考える。 ・セッピィ号と市内循環バスの見直しを行う際は、乗継を上手くいくように調整してほしい。 ・ルート変更となった際、市内の主な公共施設にはバス停を設けてほしい。別府コミュニティセンターでイベントを開催したことが何度かあるが、アクセスについて説明の仕方が難しく、イベントの参加を諦められる方もいる。 ・車両小型化に伴い車椅子対応ができなくなってしまうのは仕方ない部分もあると考える。車椅子利用者については、別の移動手段を確保していく必要がある。 ・鳥飼地域には事業所が多いので、従業員の通勤手段としてバスを利用してくれると利用者の増加となり、渋滞が減る可能性があると考える。 **■その他の施策について** ・子どもへの交通安全の啓発はもちろんだが、大人でも自転車利用マナーが悪い人もいるため、大人に対する安全運転の啓発をもっと行わなければならないと考える。
市民委員との意見交換④	令和6年12月26日(木)	・第5回分科会の結果共有、意見交換 ・第4回協議会に向けた事前説明	**■施策について** ・次年度以降にセッピィ号の見直しの検討などが進んでいくと思うが、利用者のニーズをしっかりと把握してほしい。 ・市内循環バスで正雀駅にはアクセスできないと思っている人もおり、その方に最寄りの停留所を伝えたことがある。運行していても周知不足だと利用につながらないと考える。 ・正雀駅の「府営摂津正雀住宅北」は、駅前の道路から少し外れた箇所に設置されており、初めて利用する人にとって場所がわかりにくい。視認しやすい場所へ停留所を移動させる、わかりやすい停留所名にする(例えば、「正雀駅前」)等の工夫でも利用のしやすさは変わってくると思う。 ・公共交通を充実していくことが重要であり、利用を定着させていくためには子どもの頃からバスに乗る経験をしてもらうことが有効であると感じている。

第3回協議会の振り返り

第3回協議会の実施概要

＜実施日時＞

令和6年10月22日（火）14:00～15:30

＜内容＞

・これまでの協議結果について
・山形県鶴岡市への視察結果について
・摂津市地域公共交通計画（素案）について
・今後のスケジュールについて

▼第３回協議会の実施状況

＜出席者＞

種別	所属	氏名
市長又はその指名する者	摂津市　建設部	永田　享
交通事業者	西日本旅客鉄道株式会社	中嶋　和政
	阪急電鉄株式会社	松井　洋
	大阪モノレール株式会社	中川　義彦
	阪急バス株式会社	野津　俊明
	近鉄バス株式会社	宮本　義博
	京阪バス株式会社	北西　進太郎
	千里丘タクシー株式会社	松浦　宏樹
道路管理者	大阪府　茨木土木事務所	田口　靖之
	摂津市　建設部	吉田　菜津子
国土交通省	近畿運輸局大阪運輸支局	釈迦戸　久夫
	近畿運輸局大阪運輸支局	中村　洋一

種別	所属	氏名
公共交通利用者	公募市民	森田　恵子
		林　沙也加
学識経験者	大阪大学　大学院	土井　健司
		青木　保親
		葉　健人
その他	大阪府　都市整備部	江藤　良介
	摂津市商工会	島内　嘉紀
	摂津市　市長公室	寺田　荘史
	摂津市　生活環境部	鈴木　誠
	摂津市　保健福祉部	由井　秀子
	摂津市　保健福祉部	細井　隆昭

第3回協議会の意見概要

■計画書素案について

(1)施策内容について

・乗務員不足等で今の輸送量を維持していくことが難しくなってきている中で、路線バスの機能をセッピィ号や循環バスに担ってもらうことも今後は必要になってくるかもしれない。路線バスとセッピィ号、循環バスのあり方・機能分担については、市と事業者が一体となって考えていく必要がある。また、本格運行まで5年後となっているが、試行的にできそうなことも含めて、できるだけ早い時期で取り組んでいけるように、交通事業者としても提案していきたい。

・乗務員不足なのであれば、例えば女性の積極的な採用やフルタイムでない多様な働き方の推進など、もっと採用の幅を広げていくことができるのではないか。

・女性ドライバーの採用はすでに広げていっており、女性専用の休憩室設置やパウダールーム、シャワー室の設備・施設の改善などにも取り組んできている。また、昼間だけ従事する勤務形態での採用を検討する等、多様な働き方についても研究を進めているところである。就労環境の改善や多様な働き方の推進を引き続き行っていき、人材確保に努めていく。

・公共交通を維持していくうえでは、事業者、行政、市民それぞれが資源を出し合って連携していくことが重要である。摂津市は事業所が多いため、各所から資源を出し合って、Win-Win-Winになる関係を作ることができればよい。

・30～50年先の目指す姿を達成していくためには、施策を継続的に実施し、支えていく“ヒト”の確保・育成が重要となる。そのため、モビリティマネジメントなどの将来世代を担う子どもに対する教育をしっかりと行っていかなければならない。

(2)KPI(評価指標)について

・KPIは、行政目線での設定になりがちであるが、市民目線からするとどれだけニーズに応えてもらえているかの観点が重要であるため、ニーズ調査とリンクしたKPIを設定しておく必要がある。

・計画期間5年間の中で市の担当者も変わっていくため、なぜこれらの施策を行うのか目的を見失わないように、KPI設定の考え方を明記しておいた方がよい。

■その他

・これまで路線縮小・廃止がされている市町村では、ここまで厳しい経営状況にあることは知らなかった等の声を聴くことがある。現状を知ることが積極的に利用する行動にもつながるため、路線バスの現状等の見える化を行っていくことが重要であると考える。

【第3回協議会の結果を踏まえた対応】

○ 協議会で挙がった意見を踏まえて、施策の記載内容・表現の見直しを行う

○ KPIについては、指標や目標値の考え方・表現をわかりやすい形に見直すとともに、計画書にその考え方を明記する

第5回分科会の振り返り

第5回分科会の実施概要

＜実施日時＞

令和6年12月5日（金）10:00～12:00

＜内容＞

・これまでの協議結果について
・摂津市地域公共交通計画（素案）について
・計画推進に向けた進め方について
・今後のスケジュールについて

▼第5回分科会の実施状況

＜出席者＞

種別	所属	氏名
学識経験者	大阪大学　大学院　工学研究科　地球総合工学専攻　社会基盤工学コース	青木　保親
		葉　健人
交通事業者	西日本旅客鉄道株式会社　阪奈支社　地域共生室	中嶋　和政
		廣井　鈴
	阪急電鉄株式会社　都市交通事業本部　沿線まちづくり推進部	阿瀬　弘治
	阪急バス株式会社　自動車事業本部　営業企画部　兼　新モビリティ推進部	田中　祥敬
	近鉄バス株式会社　営業部乗合営業課	寺井　孝次
	京阪バス株式会社　経営戦略室	北西　進太郎
道路管理者	大阪府茨木土木事務所　地域支援・企画課　企画グループ	田口　靖之
国土交通省	近畿運輸局大阪運輸支局　総務企画部門	苅屋　翔
	近畿運輸局大阪運輸支局　輸送部門	大石　信太郎
その他	摂津市商工会	島内　嘉紀
摂津市	生活環境部　産業振興課	緒方　聡輔
	建設部　道路交通課	永田　享
		黒田　尚志

第5回分科会の意見概要

■計画書素案について

(1)施策内容について

・第3回協議会で意見のあった「利用実態の見える化」について、摂津市では「これからみんなで公共交通について考えていこう」という段階なので、コミュニケーションを積み重ねていくことが重要で、危機感を煽るのは避けた方がよいと考える。しかし、公共交通に対して関心を持つ人が増えてきた段階では、利用実態等をきちんと提示して「バスに乗らないとなくなってしまう」という意識醸成を図っていく必要がある。

・現段階で収支状況や利用状況を示すよりは、公共交通の役割やどのような構造で成り立っているのか等、公共交通そのものについて知ってもらう機会を増やしていくことが必要である。

・公共交通に対する意識醸成を図っていくためには、出前講座やイベント等、交通に少しでも関わる取組・話題について、市民に伝わるように発信していく必要がある。摂津市の公式LINEでは、公共交通のセグメント配信を設定すると、公共交通に興味・関心のある人に情報発信ができるという仕組みもあるので、このようなツールを積極的に活用しながら、情報提供ができるとよい。

(2)KPIについて

・目標2の評価指標に「事業所等との意見交換実施回数」が設定されているが、特定の事業所だけだと業種が偏ってしまうため、複数事業所と意見交換を行っていけるとよい。

・目標6の評価指標に「公共交通に関する講習や勉強会等に参加・受講した人数」が設定されているが、知識やノウハウが豊富な人を増やしていくだけでなく、公共交通に対する利用意識を持つ一般市民を増やしていくという観点で、「モビリティマネジメントの実施回数等」を設定することも考えられる。

・モニタリング指標で「公共交通に関する予算」が設定されているが、運行経費は今後上振れになっていくことが想定されるため、単に経費削減のみの議論とならないように、あくまで参考値として取り扱うのがよいと考える。

■計画推進に向けた進め方について

・分科会では活発な意見交換ができており、ここまで交通事業者や関係者がふらっとに意見交換できている自治体は少ない。また、摂津市の強みである産業分野から、産業振興課や商工会が参加しているため、具体的な取組の意見交換がしやすく、良い環境である。

・今後は議題によって教育部局や福祉部局等にも参加してもらうほか、警察にも参加してもらい、自転車の利用マナー啓発等について指導してもらうのもよいかもしれない。

【第5回分科会の結果を踏まえた対応】

○ 協議会で挙がった意見を踏まえて、計画の記載内容・表現の調整を行う